望ましい集団生活の活性化と自主的・実践的な態度を育てる特別活動の在り方

日立市立泉丘中学校

1　はじめに

本校は、全校生徒518名の大規模校であり、学校行事では各学級や学年で団結して大いに盛り上がる。泉丘中３つの心得「時を守り、場を清め、礼を正す」を生徒一人一人が意識して過ごしている。これまでも、学校生活をよりよくするために生徒会を中心に自主的に話し合い、運営してきた。生徒一人一人が学校生活をよりよくするために自主的に考え行動できる力をさらに育むことをねらいとした取組を紹介したい。

2　資料

⑴ 生徒総会

今年度の議題は校則の見直しであった。自分たちの学校生活をより豊かにするために主体的に話し合いが行われた。生徒総会後は、生徒会を中心に、校則についての要望書を作成し、靴下や日焼け止めの使用について見直された。生徒総会で話し合った内容が実現されたことで、生徒たちは充実感や達成感を得ることができた。

⑵ いじめ撲滅フォーラム

昨年度は「なぜいじめが起きるのか」をテーマに、学級での問題点とその改善点について話し合い、全校に向けて発表を行った。今年度は、「ＳＮＳを使ったいじめ」の事例を扱い、昨年度と同様に学級で話し合い、リモートで全体発表を行った。フォーラムの最後には、いじめに関する動画を全校生徒で視聴し、今後の学校生活での過ごし方を見直すことができた。

3　成果と課題

校則の見直しやいじめ撲滅フォーラムなど、学校生活をよりよくするために、主体的に取り組む活動を計画的に実施した。その結果、本部生徒会を中心として企画・運営が円滑に行われ、生徒達の自主的な精神が育まれ、達成感を得ることができた。課題として、職員間での共通理解や役割分担が不十分で、時間の調整の部分や行事の進行に影響があった場面があったため、職員会議や学年会等を通して職員間で十分に共通理解を図っていく必要がある。今年度の経験を生かし、来年度も生徒主体の校則の見直しや、実行委員会を中心とした行事の運営に繋げられるようにしていきたい。